

図書館かがわ

香川県立図書館報 第99号

発行日 2013.4.1

Library Kagawa

ISSN 1344-5464

NHK総合テレビ「ゆう6かがわ」「くらしワンポイント」コーナー
毎月第2水曜日18:40頃～、翌週の月曜日11:40頃～（再放送）
（高松市図書館の職員と交代で出演しています。）



今年は『ごんぎつね』
の作者、新美南吉の
生誕100年です。

受験生を応援する本を
紹介します。



FM香川「JOY-U-CLUB」「晴読雨読」コーナー
毎月第3月曜日16:40頃～

（放送日、放送内容は変わることがあります。）

テレビ・ラジオで本を紹介しています。

おすすめの本を紹介して、読書のきっかけを作るのも司書の仕事の一つです。

平成15年4月から、NHK高松放送局の夕方のニュース番組内で、おすすめの本を紹介しています。平成24年10月からは、FM香川の夕方の番組にも、司書が交代で出演しています。それぞれ5分程度の短いコーナーですが、毎回、季節や今話題になっていること、テレビに映したときの見栄えなどを考慮し、頭をひねって、本とテーマを決めています。

メディアに出演すると、多くの方に本や図書館のことを知っていただけるので、とてもやりがいがある仕事です。これからも面白い本をご紹介しますので、どうぞ楽しみに。

「何がでっきょんなー？」③ ～図書館で本が提供されるまで～

「書店ではもう入荷している本が、図書館にはまだ入ってきていない。なぜこんなに時間がかかるの？」というお問い合わせをいただくことがあります。

それは、図書館では本を利用していただけるようになるまでに、さまざまな作業が必要だからなのですが、今回はどのような作業が図書館で行われているか紹介します。



見計らい選定 (左)
リスト選定に使用するチラシ (右)

選書 どの本を図書館の蔵書とするのか、選定します。主な選定の方法は、見計らい（書店が図書館の収集目的などを見計らって持ち込んだ本の中から選定する）とリスト選定（出版案内等から選定する）です。

限られた予算の中で、できる限り多様な要望に応えられるよう、知恵を絞って選定しています。



検収作業

発注 選定委員会を通過し、購入が決まったものは、書店に発注します。

納品・検収 書店等から納品された本が注文通りのものか、チェックします。

受入れ・請求記号の付与

本を図書館の財産として受入れをし、請求記号（本の配架場所を表す記号）を付与します。

どの作業にも、正確さと迅速さを心がけています。



装備 蔵書印（所蔵者を示す印）を押したり、請求記号ラベル（本の配架場所を表すラベル）を貼ったり、利用の多い分野の本には、ブックコート（本を保護するための透明のフィルム）をかけたりします。

手先の器用さが要求される作業です。

配架・本の提供

この本オススメです！

～図書館の本棚からピックアップ～

「瀬戸の島旅」

ROOTS BOOKS／責任編集
 (西日本出版社) 2012. 4
 (請求記号：K2910/R3)



いざ、「島旅」へ

現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2013」が、今年の春、夏、秋の3期にわたって、瀬戸内海の島々を会場に開催されます。

3年前に開催された第1回目の芸術祭で会場だった、直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島に加えて、今回は、新たに、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島も会場となるそうです。皆さんはこのうちいくつの島に渡ったことがあるでしょうか。

ご紹介する『瀬戸の島旅』は、瀬戸内・香川沖の25島をくまなく歩いて取材したガイドブックで、歴史や文化、景色を満喫できるスポット、食材など、島々の豊かさや魅力を詳細に伝えています。

たとえば斜面に家々が重なるように密集した男木島は、集落の中はほとんどが坂道や石段になっていて、まるで迷路のように入り組んだ路地が続くそうです。その路地をあがった先にある豊玉姫神社は、島の人たちに親しみを込めて「玉姫さん」と呼ばれ、そこから振り返ってみる集落とその先に広がる瀬戸内海が美しいと紹介しています。

潮風に誘われてこのガイドブックを片手に島に渡り、アート作品の鑑賞はもちろんのこと、島の人たちとの交流を通じて島の暮らしに接したり、その土地に根差した食べ物を堪能するなど、「島旅」を楽しんでみてはいかがでしょうか。きっと新たな出会いや発見があるでしょう。

「カロリーヌ キャンプに行く」

ピエール・プロブスト／さく
 (BL出版) 1998. 12
 (請求記号：J/P13/3-5)

なつかしの
カロリーヌ

今年は、フランスの絵本作家ピエール・プロブストの生誕100年にあたります。

名前を聞いても今ひとつピンと来ないという方のなかにも、金髪の女の子「カロリーヌ」とネコ、犬、クマなどの動物たちが海や牧場に行ったり、ときには月にまで行ってしまったりと楽しい出来事が色鮮やかに描かれている絵本、といえ、懐かしく思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私が「カロリーヌ」と出会ったのは、かれこれ30年以上前のこと。その頃、我が家の本棚には日本の民話を中心とした絵本がずらりと並んでいました。その中にただ一冊、フランスの絵本『カロリーヌとおともだち』(小学館 1974年刊)がありました。私は、事あるごとにこの絵本を開き、わくわくしながら眺めていました。なかでも「うれしいなつやすみ」という話が大好きでした。カロリーヌと動物たちがキャンプに行き、スパゲティを食べる場面で、くまがとても長いスパゲティをあやとりのようにくるくると腕に巻きつけて食べる姿は私の憧れでした。

この絵本は現在、「カロリーヌとゆかいな8ひき」というシリーズとなって、BL出版より出版されています。キャンプの話も『カロリーヌキャンプに行く』というタイトルで一冊の絵本になっています。昔のものと比べ、色が鮮やかになり、カロリーヌたちの表情もさらに生き生きと輝いているように見えます。お子さんだけでなく、大人の方も一緒に楽しめる絵本です。

「語り手養成講座～はじめよう！ストーリーテリング～」を



講師の辻村千良子さん



平成24年12月から全3回開催した「語り手養成講座～はじめよう！ストーリーテリング～」が、平成25年1月24日（木）に終了しました。県内各地から集まった30名の受講生は、とても熱心で冬の寒さを吹き飛ばすようでした。

講師は、辻村千良子さん。大学在学中から児童文学者 間崎ルリ子氏が主催する「鴨の子文庫」の勉強会に参加し、現在は聾学校の子どもたちへのストーリーテリングをはじめ、図書館、公民館でも積極的に活動されています。

第1回と2回の講座は、辻村先生のストーリーテリングをまじえた講義、最終回には、受講生5名がストーリーテリングの実践をしました。うち4名は、今回が初めてでしたが、そうとは思えないほど落ち着いて、作品に対して誠実に語ることができました。

今回の講座がきっかけとなり、少しでも多くの語り手がうまれることを願っています。



～住所、電話番号等に変更のある方へ～ 変更届はお済みですか？

うらかな春の訪れを感じる毎日✿
春はお引越しの季節でもあります。
香川県立図書館では、ご登録いただいている
内容に変更が生じた場合は、利用者の皆様へ
変更届のご提出をお願いしています。
お手数ですが、ご来館の際は、
1階「案内・登録」カウンターまでお申し出ください。



編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>